



▲宜野湾へ向かってた道 2019(平成31)年
正面の森は大山貝塚



▲大山の聖地「ミスクヤマ」拝所 2019(平成31)年

宜野湾市立博物館へようこそ

宜野湾市立博物館

— Ginowan City Museum —

入館料無料！！
※ホームページに掲載されている画像および写真の無断使用は厳禁です。

博物館イメージキャラクター
天女ちゃん

分野：考古・歴史・民俗
入館料：無料
開館年：1999年
開館時間：午前9時～午後5時
※入館は午後4時30分までとなります。

休館日：毎週火曜日・祝祭日
(前日の日・文化の日を除く)
12月29日～1月3日
※その他、天候による臨時休館日あり。
※休館日に収容されている場合は、翌日の休みではない日が臨時休館日となります。

▶博物館ガイド (PDFファイル: 1.70M)

■博物館ホームページ

メニュー

- ①ご利用案内
- ②博物館の活動
- ③展示会・市民講座
- ④「市史」ってなに?
- ⑤販売図書や広報誌、3D
- 友の会
- よくあるご質問
- English
- 天女ちゃんについて

博物館 カレンダー

2019年 3月

日	月	火	水
24	25	26	27
3	4	5	6
10	11	12	13
17	18	19	20
24	25	26	27

■メニュー 一覧



◀博物館
ホームページ

古道を訪ねて
～大山から宜野湾へ向かう道～

国道58号から大山貝塚にむけて坂道を行くと普天間飛行場のフェンスに差し当たり、その右側には大山貝塚と大山発祥の聖地「ミスクヤマ」の拝所があります。かつてこの道は、「ジノーンミチ」と呼ばれ、宜野湾村の中心である宜野湾へ向かう道でした。また、戦前の大山の綱引きでは、メンダカリ(前村渠)とクシンダカリ(後村渠)に分かれる境界線の道

茶くわ〜 ゆんたく

お茶を飲みながら、
ぎのわんの歴史を
のぞいてみませんか?

180

でもありません。

本来、この道を東へ抜けて宜野湾に向かうと、そこには「ミীগッコウ」と呼ばれる宜野湾国民学校(昭和16年以降)があり、大山の子ども達もそこへ通っていました。通学路としてこの道を通る子ども達は、ミスクヤマの前に差し掛かるとミスクヤマに向かって一礼して学校へ向かったそうです。

同じ道でも宜野湾側からは、この大山へ向かう道を「ウヤマミチ」「ガッコウミチ」「ソンドー」と呼んでいました。この道は大山から宜野湾へ抜けるだけでなく、宜野湾を抜けて長田へ向かう道でもありました。いわば、宜野湾の東西横断線の道でした。

今では普天間飛行場のため、道は途切れていますが、かつてこの道を利用した人びとにとっては、思い出の残る道なのです。

【問合せ】

市立博物館 ☎870-9317

時間を持て余したら 博物館のホームページへ

今年も新年度が始まりました。宜野湾市立博物館は、この6月で設立20周年を迎えます。そこで、市民講座や展示などで、この節目を記念する試みを計画しているところです。これらの情報は、随時博物館のHP(ホームページ)で紹介していく予定です。当館のHPでは、このようなイベント情報のほかにも、広報誌やこれまで市報に掲載したコラムなども取り上げています。待ち時間や移動時間などの暇つぶしに、当館のHPを覗いてみてはいかがでしょうか?

【問合せ】

市立博物館 ☎870-9317

はくぶつかんの 部屋

49

宜野湾市の歴史や文化などを
紹介します。

市立博物館
イメージキャラクター
天女ちゃん

左下の二次元バーコードをスマートフォンで読み込むと、当館のHPにいきます(左上の画像)。ここから画面を下にスクロールすると、画面左側にメニュー一覧が出てきます(左中央の画像)。

主に学芸担当が行っている博物館の取り組みなどは、①で紹介しています。企画展や市民講座の情報は、②のメニューから詳細を見ることが出来ます。③の証明書発行については、3月をもって終了となりました。④では、博物館の市史編集担当が行っている仕事を紹介しています。発行された市史や報告書、これまで博物館で発行してきた広報誌、市報掲載コラムなどは⑤から各ページに移動できます。ここでは、博物館長が定期的に発行している「森の川自然散歩」なども3月からアップしています。

これからも、HPから発信する博物館や宜野湾市の情報を、楽しくご活用頂ければ幸いです。